



山口県にパツ！と広報紙の華を咲かせよう！



第42回山口県PTA連合会

広報紙コンクール募集!

本年度も、県内小中学校のPTA広報紙の充実・振興をはかるために、「広報紙コンクール」を実施いたします。

**あなたの学校のPTAも
ぜひ、エントリーを!!**

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 応募資格 | 山口県PTA連合会に加入している小中学校PTA |
| 応募対象 | 平成28年度中に発行された広報紙(全号一緒にご応募ください。) |
| 提出方法 | 山口県PTA連合会事務局に直接ご持参もしくは郵送をお願いします。 |
| 提出期限 | 平成29年3月31日(金)必着 |

〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内 ※応募作品は返却いたしません。※詳細は山口県PTA連合会ホームページをご覧ください。

山口県PTA連合会研修大会 柳井大会 10月16日(日)サンビームやない

山口県PTA連合会 研修大会 柳井大会が「愛・夢・志 ～子どもたちの未来に向かって～」をテーマに開催されました。伊陸小学校児童による「南山神社神楽舞」、大畠小・中児童・生徒による「剣舞 立志の詩」の披露の後、大会が開幕しました。

開会行事、柳東小学校親師会の取組発表の後は、劇団四季で、役者、演出等でご活躍され、現在はFUJIKAWA MUSICAL STUDIO代表の、柳井市出身、藤川和彦氏の「夢をみつめて掴む！」と題した講演がありました。高校時代、NASAで働きたいとの夢を持ち、猛勉強し、東大工学部へ進学。そこで、今しかできないことに挑戦しようとダンスに出会い、体を使って表現することの奥深さに魅了され、舞台を通して生きる元気、夢を与えたいと、劇団四季へ入団。その後は、努力と挑戦の日々。そして現在も、舞台芸術の素晴らしさを伝え続ける仕事をされています。

藤川氏は、「その瞬間瞬間を全力でがんばってきたことが、次に進む原動力になっている。」とし、実践を交え、劇団四季での、「母音の発音を大事にするトレーニング」を披露。「自分は、声に対する自信は無かったが、必死に練習し、できることが増え、自信につながり、今ここにこうしている。」そして、「これから、まだまだ夢を探して突き進みます。」と締めくくられました。常に夢を持ち、挑戦し続けるその姿に、いい刺激をいただきました。会場は、やまぐちフラワーランドから花鉢の出店などもあり、癒されました。柳井市PTA連合会の皆様、準備運営等大変お疲れさまでした。



第46回 日本PTA中国ブロック研究大会 とっとり大会 平成28年11月12日(土)

「みんな輝け つながれ未来！～心のふるさと育てよう～」のスローガンのもとに開催された、第46回日本PTA中国ブロック研究大会に参加しました。

午前には実践発表が行われ、

- ① 80年以上続く水泳教育の取り組み。
- ② 中学校区4校での取り組み。
- ③ 幼・小・中一貫教育の取り組み

3校の発表があり、学校の規模の大小はありますがいずれも、学校・保護者・地域が連携をして子どもたちの為に活動されていました。

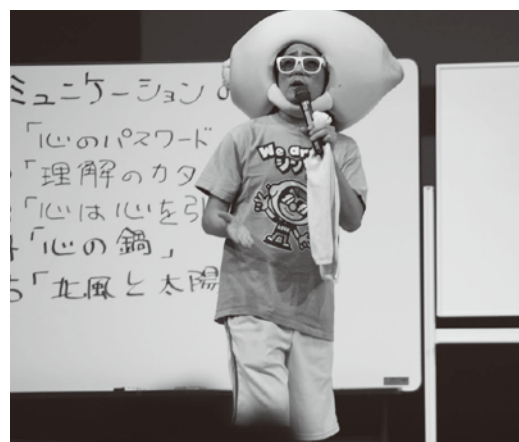
午後からは、「レモンさん」の愛称でテレビやラジオの番組に多数出演している山本シュウさんの記念講演がありました。山本さんは、PTA会長を5年務められ、現在も中学校等に出向き講演をされています。

昭和生まれの我々には、すぐ感情的になる・人の話が聞けない・すぐダメ出しをする等々の「昭和のICチップ」なる物が埋め込まれているようです。

「子ども(反抗期)VS大人(更年期)は無駄な戦いであり、怒るより同調し子育てを楽しめるものにしましょう。」「人はあなたの思うようには動きません」

そんな我々と子どもたちのコミュニケーションの方法として、1.「心のパスワード」理解の言葉を示す。2.「理解のカタチ」相手の話を聞く・確認する・同調する。3.「心は心を引き寄せる」愛は愛をもって接する・憎悪を持てば憎悪を抱く。4.「心の鍋」心の鍋を温めることは容易だが、冷え切った心の鍋を持った人に愛の炎でどう温めるか。5.「北風と太陽」北風の様に強引に押し付けてもダメ。説得力より納得。と5か条を教えていただきました。

我々保護者は、子どもたちに対して健やかに育ててほしいと思い、人生の先輩として頭ごなしに怒ったり、正しい方向へ導くためにこちらから先回りしがちです。相手を理解し同調することにより、一緒に悩み、より良い解決方法が見つかるのだと思いました。約2時間の講演でしたが、5年間PTA会長としてPTA活動を行い、今なお子どもたちに接しておられるため、説得力のあるアツク・楽しい講演会でした。(文責:中村)



PTA会員の補償制度 (2016年7月現在の内容です。)

各PTA会員が加入

小学生・中学生総合保障制度

(こども総合保険・自転車総合保険)

お子さまの24時間のケガ・賠償責任・育英費用・
持ち物への補償(学校管理下のみ)・
熱中症・病気の補償(一部のプランを除く)

好評!

「育英費用補償1,000万円プラン」

扶養者の方が不慮の事故で死亡された、または、所定の重
度後遺障害を負われたときに、お子さまの育英費用とし
て1,000万円お支払いします。(一部のプランを除く)

自転車事故による
ケガの補償(傷害補償)が充実!

「自転車総合保険による補償」

自転車総合保険がセットされ、自転車事故でのケガの
補償が手厚くなっています。(一部のプランを除く)

地震・噴火・津波
補償付プランも好評!

各PTAが団体で加入

山口県PTA安全互助会

(PTA団体傷害保険)
(PTA賠償責任保険)

PTA行事の参加者

(※1)のケガの補償

(PTA団体傷害保険)

- ※1 参加者とは
① PTA会員(保護者・教職員)
や児童・生徒
② PTA会員の同居の親族
③ ボランティアとしてPTA
活動に参加する方

PTA活動の遂行に起因 して発生した法律上の 損害賠償金の補償(※2)

(PTA賠償責任保険)

※2 PTA主催行事中に対人、対
物事故が発生し、団体とし
てPTAが法律上の賠償責
任を負った場合。

新年度に各学校を通じて加入者を募集します。*この広告は保障制度の概要を説明したものです。
詳細につきましては制度引受保険会社にお問い合わせください。

制度引受保険会社 **AIU損害保険株式会社**

広島支店 〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル2階 TEL082(222)4351
受付時間:土・日・祝日・年末年始除く 午前9:00~午後5:00 承認番号[A-000675(有効期限2017-04)]

■お問合せ先: 山口県PTA連合会 ☎(083)925-6778

山口県PTA連合会 健全育成委員会研修会

平成28年12月17日(土) 下関勝山公民館

「有難うは巡る」 講師:梅月博文 先生

長年中学校教員を勤められ、現在は山口県立大、下関看護専門学校及び大津緑洋高校で非常勤講師をされていらっしゃる梅月先生を講師にお招きし、先生が様々な経験を通して感じたことを話していただきました。

特に印象に残ったのは「他人の喜びが自分の幸せ」という言葉を遺して逝った男の子が「彩雲」になって届けに来た「ありがとう」によって生徒たちが思いやりを持つようになり学校が良くなっていったというお話でした。「ありがとう」の溢れる学校になったらいじめもなくなるということで、改めて「ありがとう」の重みを感じました。



平成28年度 教育懇談会

学校・保護者・地域(コミュニティ・スクール)の連携こそが 鍵！

10月28日(金)山口県教育委員会と山口県PTA連合会との教育懇談会が開催されました。

昨年度までは、「子どもたちの安心・安全」を協議の内容として熟議してきましたが、今年度は「子どもたちの人権」を中心に熟議しました。

内容としては、①インクルーシブ教育(合理的配慮)②子どもたちの権利(自立に向けて)③平等な学習権(教育の格差)④子どもたちの人権(ネット社会)の4グループに分かれ教育委員会の先生方に、現在子どもたちを取り巻いている環境をご教授していただき熟議しました。

「インクルーシブ教育」では、私たちPTAが最大限の力を発揮し、インクルーシブ教育を知る機会を作ることが必要で、そのためにはどのようにするのが良いか熟議されました。インクルーシブ教育とは障がいのある子どもたちがストレスを感じることなく、学校生活や学習をすることが出来るということです。現段階では、インクルーシブという言葉自体も、私たち保護者や地域の方々が知らないという現状にあることから、まずは私たちが障がいのある子どもたちを「知る」ということが大切なのです。

「子どもたちの権利」では、自己肯定感・いじめ・学ぶ権利・生存権・居場所に分け、様々な熟議をされました。子どもたちの権利を考えると私たち大人はどうしても環境の整備に考えが行ってしまいがちです。必要なことではあるのですが、子どもへの人権教育と考えると、権利は子どもたち自身で考え、感じて、行動することが基本で、私たち大人はそれを見守ることが大切です。権利を主張することは責任と対応関係となり、人権を侵害しない、拒否しない、支援をしていくことを深く追及して教育していくことが必要なのです。

「平等な学習権」では、親の収入の格差や市町・学校の運営方針の違いによる格差等の面から熟議されました。親のみ、先生のみ、学校のみでは解決できません。学校・家庭・地域がこれまで以上に手を取り合い協力していくことが必要なのです。

「子どもたちの人権」では、法の整備や教育方法の改革が、ネット社会の急速な発展に間に合っていない子どもたちの置かれている現状を上げ、特にネット端末を使用するルール作りについて熟議されました。その中で、時間を決めて使わせる。充電器を親が管理する。親子でネットについて勉強する等の意見が出ましたが、まずルールを決めるのは親からでは？という声もありました。まずは私たち大人が子どもたちの手本になるように行動することが重要なのです。

総評として、どの課題も、学校・家庭・地域が手を取り合って、地域総ぐるみで子どもたちを育てていかなければいけないということです。

山口県教育委員会の浅原教育長が「山口県の市町立小中学校におけるコミュニティ・スクールの開設は100%」と話されました。これは他県では驚異的なことであり素晴らしいことです。

しかし、私たち保護者もこれに満足することなく、コミュニティ・スクールの組織をどうするか、学校の方針を聞くだけの学校運営協議会の会議にするのではなく、保護者や地域発の起案をし、熟議していくべき時代がすでにきているのかもしれない。一部の熱い人たちの行動、思いだけではなく、熱い思いを根気よく周囲に伝え感化させていくことで、この温度差がなくなった時が解決の時なのかもしれない。

教育問題委員会 委員長 奥村 寿幸

山口県PTA連合会 子育て親育て研修大会

平成29年2月4日(土) セントコア山口

「子育ては自分育て」～つながる親育ち～

近年、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し家庭教育の環境が大きく変化しています。このような社会で子どもたちの明るい笑顔と未来を育むために、山口県教育庁 社会教育・文化財課 教育調整監 岡田 淳子先生を講師にお招きし、50名の参加者で熟議しました。

同じ悩みを抱える親など、自分と同じ立場で話し合える人とつながりを持つことで、子育てのストレスを発散し、笑顔で子育てを楽しみ、安心して家庭教育が行えるようになることを目的としたワークショップを行いました。子育てや仕事などに多忙な日々を送っている中、自らの子育てを振り返るよい機会となりました。



PTA活動支援助成事業

本県PTAの活動方針を基に、特性をいかした活動を推進しようとしているPTAの活動資金を交付します。貴重な成果を全県に紹介し、今後のそれぞれのPTA活動の活性化や充実改善に資することを目的とする事業です。平成28年度PTA活動支援助成校の中から岩国市立錦清流小学校PTAの取り組みの一部を紹介します。

岩国市立錦清流小学校PTA

～地域とともに、笑顔あふれる学校づくり～

錦清流小学校では「笑顔あふれる学校」を教育方針に掲げ、PTAも笑顔で頑張っています。

☆広まれ！笑顔のあいさつ

地域の連帯感を高め、子どもたちの思いやりの心を育み、豊かな人間関係を一層深めるため、平成27年5月から「あいさつ運動」をスタートしました。毎月第2火曜日に、登校時の声かけで、子どもたちの笑顔のあいさつを地域にも広めてきました。今では、地域の皆さんにも呼びかけて錦地域協育ネット(錦中学校区)で運動を展開しています。



☆ちょっと本気で・・・！?

5月の親子レクリエーションでは、大人と子ども対抗で低学年はドッジビー、高学年はドッジボールを楽しみました。ビッグブレーの歓声とボールをぶつけられた悲鳴に親も子も笑顔いっぱいになりました。



☆チームワーク発揮！

12月の錦町小学校持久走大会では、宇佐川小学校の保護者と協力して昼食の豚汁とわかめご飯の炊き出しを行いました。日頃お世話になっている地域の方と交流しながら、舌鼓をうち笑顔があふれました。ここでも、PTAのチームワークが大いに発揮されました。校長先生の差し入れのお菓子で一服しましたが、お菓子の少ないことに不満の笑顔が爆発しました。



☆ノーゲームデーの取組

子どもの視力低下に課題があり、学校と連携し、ゲームやテレビを控える「ノーゲームデー」(水曜日)を7月に設定し、意識向上のため、ポスターの募集や休業中の生活点検に取り組みました。成果は今一つですが、家族との会話が増え笑顔が広がった家庭も多くなりました。

☆学校でお茶やコーヒーをどうぞ！

学校の会議室を保護者や地域の方が気軽に使える「すくルーム」に変更。たくさんの人に来てもらい子どもたちの様子を見てもらいたいという目的で9月に開設されました。この部屋では、地域の方にもお茶やコーヒーを飲んで笑顔になってもらえるよう、湯茶のセットを置いています。今後も地域と学校の架け橋となって笑顔で頑張ります！！

第五回 山口県PTA川柳入選句発表

講評：藤本一兎(五平太川柳会／山口県PTA連合会総務委員長)

総評		第四回の川柳の募集には、25名の方から55句の投稿がありました。今回のテーマは「給食」「自由」でした。「給食」の句はどれもインパクトがありました。「自由」の句もいい句ばかりでしたが一句選びました。
【入選句】	「給食」 小学校低学年の部	はら時計いつもぴったりグーグーグー 下関市立安岡小学校2年 長 ゆかり 講評 小学校で最初に習うのが時計の見方。給食の時計は習わなくても「はら時計」で分かります。
	小学校高学年の部	お姉ちゃん献立表を丸暗記 山口市立湯田小学校4年 釜谷 若菜 講評 中学生のお姉ちゃんを詠んだ句です。お姉ちゃんは、テストと一緒に献立表も猛勉強中です。
	中学生の部	給食は苦手ななくす良い機会 下関市立向陽中学校3年 加世田 敦史 講評 中学生の家庭科で「栄養」について学びます。苦手な食材でも体のいいことを知る年頃です。
	一般の部	忘れない机を並べて食べた味 美祢市立別府小学校PTA 林 洋子 講評 同窓会で話題になるのがやっぱり給食。給食は、あの頃の自分に戻れるタイムマシンです。
「自由」	小学生の部	お日さまとみんなのえがお光ってる 周南市立德山小学校2年 仲子 結菜 講評 子どもの気持ちがストレートに伝わってくる秀句です。えがおが光る教室っていいですね。

次回も楽しい川柳をお寄せください！

第六回 山口県PTA川柳

大募集

■応募方法

「小学生の部」「中学生の部」「一般の部」で募集します。川柳を書いて、「おやごころ」111号の感想、住所、氏名、学校名・学年、(一般の方は所属PTA)を記入の上、メールまたはハガキでPTA連合会事務局へお送りください。一枚につき、何句あっても構いません。テーマは「掃除」または自由にお書き下さい。

応募句の中から入選句を選び、入選者には図書カード等ステキなプレゼントを差し上げます。

入選句は「おやごころ」112号で講評とともに発表します。

宛先：〒753-0072 山口市大手町2-18
県教育会館内 山口県PTA連合会事務局
締切：平成29年3月20日当日消印有効

みんな
知っちゃう
かな？

山口県クイズ？

山口県にちなんだクイズを出題します。わかるかな～？

◆問 3月5日(日)にホーム開幕戦(@維新公園)を迎える山口県のサッカーチーム レノファ山口の右のマスコットキャラクターの名前は何でしょう？



●応募方法

クイズの答えをハガキに記入し、「おやごころ111号」の感想、住所、氏名、学校名を記入の上、PTA連合会事務局へお送り下さい。

正解者の中から抽選で若干名の方へ図書カード等ステキなプレゼントを差し上げます。

山口県PTA連合会事務局

〒753-0072 山口市大手町2-18 県教育会館内
締切：平成29年3月15日当日消印有効 3月半ばごろ、解答をHPに掲載します。

官製ハガキ▼

